



岡野 私も仕事で行ったときに見ましたが、あの状況は目を疑いましたね。
根岸 あそこは土砂災害の警戒区域なんです。特別警戒ではないので、そこまで心配はしていません。もつと危ないところはありそうですからね。

小室 今でも家はあるんですって。

根岸 まだあります。今年6月までに、上を固めてから家屋を撤去するようです。私の家は道を挟んで反対側なので、地震が来ると心配なんです。工事が進んでいるので安心はしていますが、地域や行政はもちろん、会社や勤め先の人にも感謝したいですね。近所なので、夜に会社に泊めてくれたり、避難所にお見舞いや差し入れもしてくれました。他には、社会福祉協議会の方も、一人暮らしの高齢者の方への配慮や、ペットの面倒を見ていただきました。

岡野 後から見ればびっくりしたと。 **根岸** 私は副会長がいない中、今まで役員だった方や近所の方に、避難所への誘導や対応をしていただいて、すごく助けられました。不幸中の幸いは、人的被害がなかったことです。被災した家は部屋の半分が土砂に押しつぶされていたので、もし山側の部屋にいたら、非常に危険でしたよね。前触れもなかったみたいですから。

課題1 避難ができない高齢者のこと

根岸 課題となったのは、避難所に避難できない方がいたことです。高齢で、車がない方は、土砂降りなので、避難所まで歩いていけない。うちの団地も私も含めて、8割くらいが65歳以上です。その中には支援が必要な方もいます。

甲山 それまで元気に自分のことができていた人がですね。
町長 弱い認知症の方が、場所が移ると症状が進んでしまった話も聞きます。
小室 もし体育館で生活することになったら、なおさら大変だね。

災害はハザードマップのとおり

甲山 土砂崩れや浸水は、起こる時は本当にハザードマップどおりに起こるんです。だから特に危険エリアの方と、要配慮者の方、その人たちにはいざというとき、どうするかが大事です。
根岸 危険な区域から外れた人まで避難しちゃうと、高齢者も多いので、かえって危なくなることもありますよね。
甲山 正直、まだそういう方も多く聞きますね。

根岸 家にいる方が安全なのにね。

岡野 その辺の判断は難しいですね。これだけ早め早めの避難と言われてい



町のハザードマップ。大字関堀では、被災された住宅のところがちょうど指定されている。

るので、そういう人を把握して、何かあった時に連絡や支援ができなくちゃいけないと感じますが、難しいですね。
甲山 どうしたらいいか、平時にちょっとした取り決めやルールを作っておくのは大事だと思います。避難訓練はそのいいきっかけになります。

根岸 自治組織も高齢化していて、そんなに動ける人がいないので、地区全体に広げちゃうと、助けに行けないこともありえます。どなたも、まず自分の安全を確保することが先決ですね。

課題2 ペットのこ

根岸 あと、被災した6軒のうち、4軒にペットがいたんです。我が家もいますが、そういう方は避難所に入らなかったで、車の中で一夜を過ごすことになってしまった。
甲山 台風19号の時、ペットのことでかなり情報が混乱したようです。友人が、「避難所にペットを連れて行っていいですか」と電話したら「いいです」と言われたけど、いざ行ったら「ペットは困ります」と言われ、結局車の中でずっと避難していたそうです。ペットに関するルールについて事前に決まっていれば、行政側もその分動かないかと考えてしまっただろうか。

甲山 県の指導でも、新型コロナが出たからはなおさら、雨なら土砂災害や浸水の心配がないエリア、地震に対しては耐震強度のある家の場合、自宅避難を推奨します、という考えになっています。
岡野 家が安全なのか、避難すべき場所なのかは、自己判断が難しいところもありますが、それはハザードマップを見ればわかるということですね。
甲山 はい。自宅だけでなく勤め先や、お子さんの学校も、町外ならその自治体のハザードマップをもらって、もしくはネットで見て、必ず確認してもらいたいですね。

町長 避難する方法も、人によって違いますよね。だから、普段から自分はどこに避難するかを決めておくこと。自分のお子さんが近くに住んでいれば、そこへ早めに避難することもできます。いろいろな避難の方法を持っておくことが肝要です。

くていいので、人助けができるだろうし、と思います。
町長 今年、計画を改訂しますので、そこでルール作りをする予定です。

課題3 外国の方のこと

根岸 もう一つ、被災された方に外国の方が2世帯ありました。一方は日本語が達者だったんですが、もう一方は引っ越してきたばかりのうえ、英語しか話せなかったで、携帯の翻訳で、お互いに喋るしかなかったんです。
甲山 そうだったんですか。

根岸 その方は行き先が見つからず大変だったようです。結論からいうと、外国の方のコミュニティが近所にあるみたいで、その知り合いにしばらく御厄介になったようです。そういう時に、私たちは連絡ができて、行政からの支援が届くようにしてあげたいと思ったんです。そこまで手が回らなかった。自治会で出来るのは被災された方と行政との連絡役だと思えますが、実際は難しかったですね。

大変な避難所生活に思いを馳せる

小室 ここ（関堀集落センター）で生活していた方はどのくらい？

防災メールへの登録で最新情報を

岡野 平時の今こそ、備えておいた方がいいこと、何かありますかね。
根岸 大雨になると、防災無線が聞こえないんです。雨戸を閉めて、ただでさえ聞こえないのに。そんな時は、役場からのメール配信サービスが一番確実です。いつも広報に載っていますし、私も、このように活用してくだ

さい」と回覧したこともあります。設定がわからない方も結構いらっしやる。テレビでもいいんですが、メールなら、自分の地域に避難指示が出ているのか、避難所が開設されているのかどうか、見れば一発でわかります。
甲山 防災講座の時、みんなで防災メールを登録しようとしたんですが、受け取れない設定になっている方もいました。一緒にやったり、やってあげたりしないと、進まないこともあります。

根岸 私もそんなに得意じゃないけど、メールも見たい人いますから。
町長 スマホが使えれば、一人暮らしでも、お子さんが安否確認や情報交換ができます。田舎で人口が減っているので、距離を近くするには、インターネットを使う通信手段しかない。全国を見ると、地方こそデジタル化が進ん